

柏市の自殺の現状と課題

(1) 統計資料のまとめ

【男性】

- ・自殺者に占める割合 64.0% (5年間合計)
- ・自殺の原因は健康問題が一番多い
- ・40歳代、50歳代の割合が2割超 (国県より高い)
- ・コロナ禍では特に40歳代の割合が増加
- ・有職者割合は国県を上回る (働き盛り世代の自殺者多い)
→男性40～59歳有職同居ありの方の自殺が特徴の一つ
→40～50歳代を中心に働き盛り世代のメンタルヘルス対策要

【女性】

- ・自殺者に占める割合 31.0% (5年間計)。国県よりやや高い
- ・40歳代が2割超。20・30歳代の割合とともに国県より高い
- ・コロナ禍で20歳未満、20歳代、50歳代、70歳代の割合増加
- ・20歳代から50歳代は、無職・同居人有の割合が高い
- ・女性の自殺者は、同居人「あり」自殺未遂歴「あり」の割合が高い
- ・原因の最多は「健康問題」。そのほか、「家庭問題」「学校問題」など、子育てに関連する課題が想定される

【若年層】

- ・20歳未満、20歳代の女性の自殺が増えている
- ・男女とも自殺者に占める20歳代の割合は国県より高い
- ・20歳未満の割合：男性は国県より高い。女性は国より高い

【高齢者】

- ・自殺者に占める割合 25.5% (5年間合計)。国県より低い
- ・自殺死亡率は、70歳代の女性のみ国県より高く、コロナ禍以降割合が高まっている
- ・コロナ禍で70歳代の女性、80歳以上の男性が増加
→外出や運動機会の喪失によるうつ状態が懸念される。
→高齢者の居場所づくり、地域コミュニティと連携が必要

(2) 柏市自殺対策調査研究(分析調査)からみた特徴

過去5年（平成29年～令和3年）の自殺者の死亡届・死亡診断書データ等を用いた分析調査により、本市の自殺の傾向について分析したもの。

※令和4年度に、江戸川大学 中村真教授が分析調査を実施した。

【独身者】

- ・ 柏市の自殺者に占める独身者の割合は男女ともに増加傾向
 - ・ 男性は70歳代を除くすべての世代で過半数を超えている
- ☆孤独・孤立を防ぐための交流の場づくりが求められる

【医療や行政支援】

- ・ 介護保険の認定、障害者手帳、自立支援医療といった医療、行政支援を受けていない自殺者が多い
 - ・ 配偶者や家族と同居していても、医療、行政支援を受けな
いまま自殺に至るケースも見られる
- ☆心の健康や人間関係等、分野を超えた包括的支援の提供、
各方面からの働きかけが求められる

【コミュニティ活動の充実】

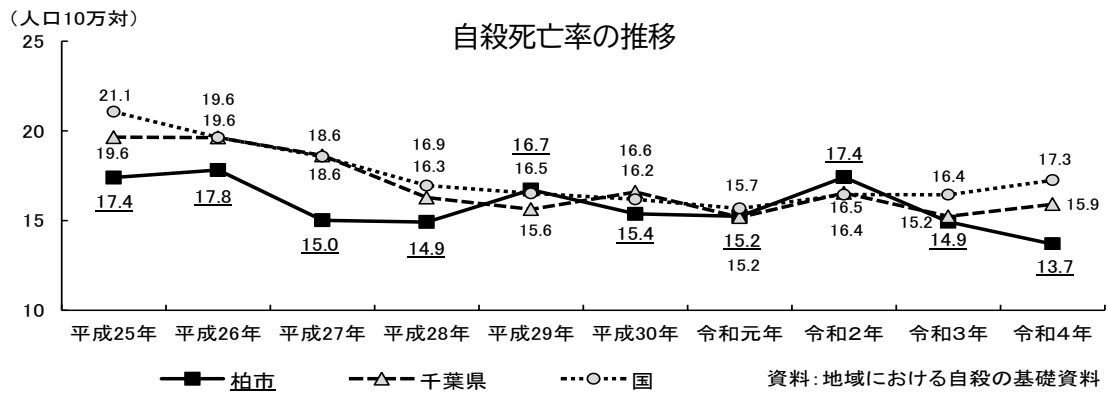
- ・ 町会等のサロン数が多い地区ほど自殺率が低い
 - ・ 地域コミュニティが自殺抑止に寄与している可能性が高い
- ☆高齢者が閉じこもりや孤立・孤独状態でリスクを抱えることがないよう、社会参加の促進と地域共生社会の実現が求められる

統計資料

1 自殺の現状

(1) 自殺死亡率の推移

人口10万人当たりの自殺者数である自殺死亡率の推移は、平成25年以降、増減を繰り返しながら減少傾向にあり、令和4年13.7は、国・県の水準を下回ります。ただし、新型コロナウイルス感染拡大下の令和2年の17.4は、国・県の水準を上回っています。



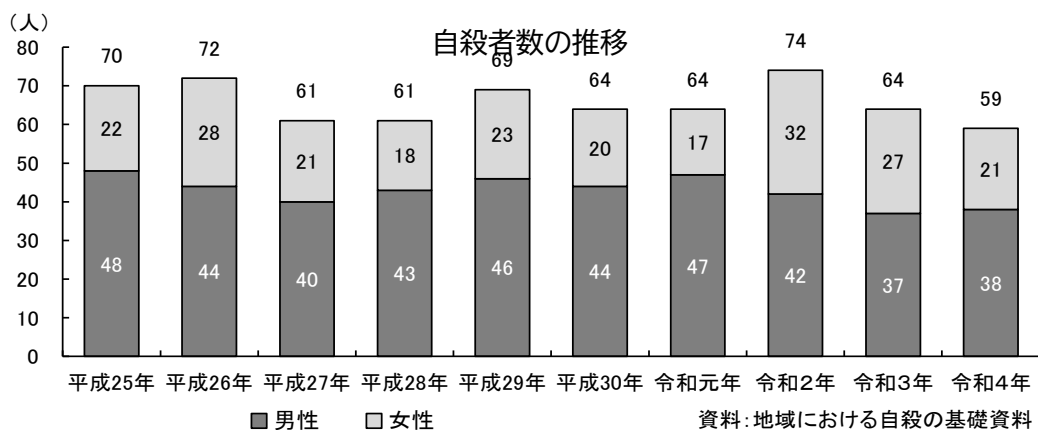
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
柏市	17.4	17.8	15.0	14.9	16.7	15.4	15.2	17.4	14.9	13.7
千葉県	19.6	19.6	18.6	16.3	15.6	16.6	15.2	16.5	15.2	15.9
国	21.1	19.6	18.6	16.9	16.5	16.2	15.7	16.4	16.4	17.3

資料：地域における自殺の基礎資料

(2) 自殺者数の推移

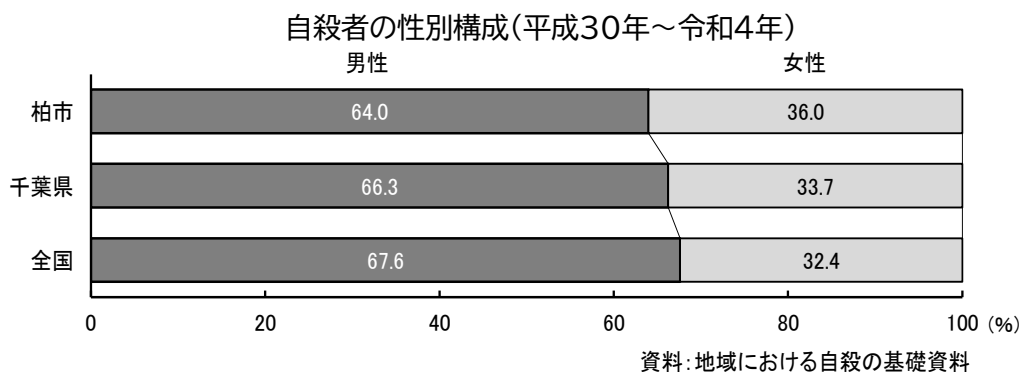
自殺者数の推移は、平成27年以降、60人台とほぼ横ばいで推移していますが、令和4年には59人となっています。ただし、新型コロナウイルス感染拡大下の令和2年は74人となっています。

男女別にみると、男性は40人台、女性はほぼ20人台で推移していますが、男性は令和3年に30人台となっています。



(3) 性別自殺者数の推移

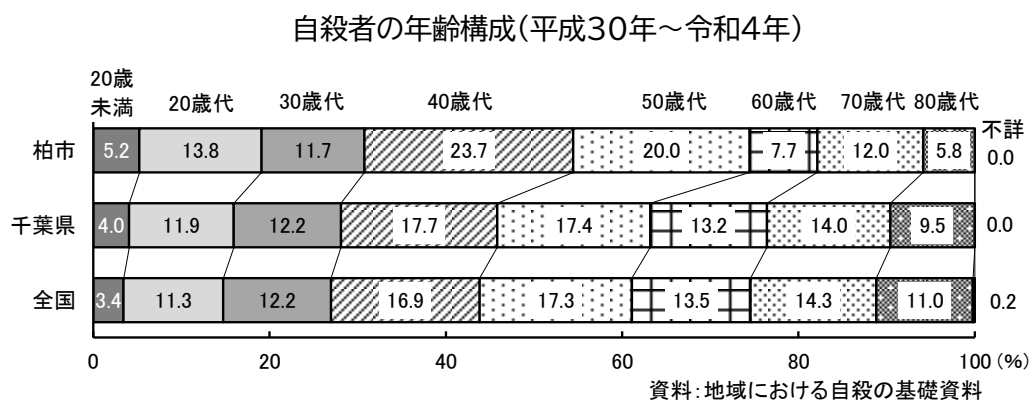
自殺者の性別をみると、男性 64.0%、女性 36.0%であり、女性は国・県の割合より高くなっています。



(4) 年代別自殺者の状況

①自殺者の年齢構成

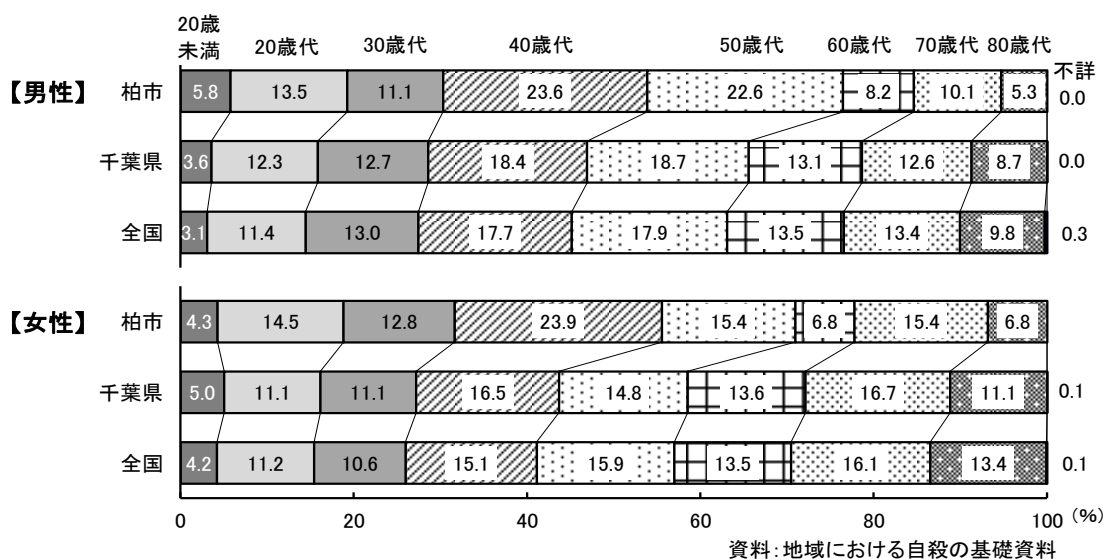
自殺者の年齢構成をみると、20歳未満、20歳代、40歳代及び50歳代で国・県の割合より高くなっています。20歳未満では柏市は高校生・大学生が多くを占めています。



②性別自殺者の年齢構成

性別自殺者の年齢構成をみると、男性では20歳未満、20歳代、40歳代、50歳代で国・県の割合より高くなっています。女性では20歳代、30歳代、40歳代で国・県の割合より高く、また50歳代は県の割合より高くなっています。

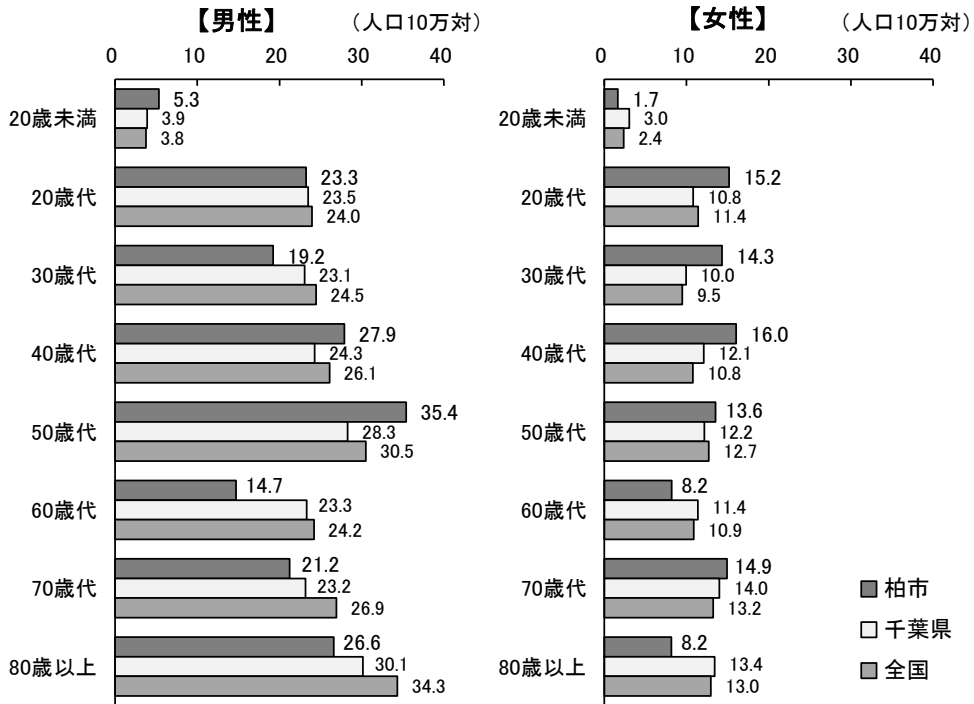
性別自殺者の年齢構成（平成30年～令和4年）



③性別・年代別の自殺死亡率

性別・年代別の自殺死亡率をみると、男性では20歳未満、40歳代、50歳代で国・県の割合より高いのに対し、60歳代では10ポイント以上も国・県の割合より低くなっています。女性では20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、70歳代と若年層から高齢までいずれも国・県の割合より高くなっています。

性別・年代別自殺死亡率(平成29年～令和3年)



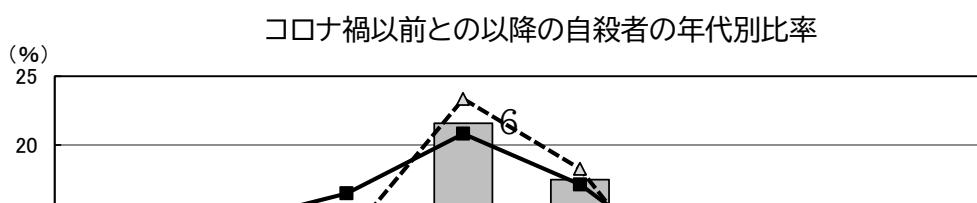
資料：地域自殺実態プロフィール(2022)

(5) コロナウイルス感染症拡大下の状況

コロナ感染拡大下での令和2年以降の割合と、コロナ感染拡大前の平成25年から令和元年までの平均割合とを比較します。

①年代別自殺者数の状況

年代別では、コロナ感染拡大下の令和2年以降において、20歳未満、40歳代、50歳代、70歳代の割合が高くなっています。



総数

単位:人

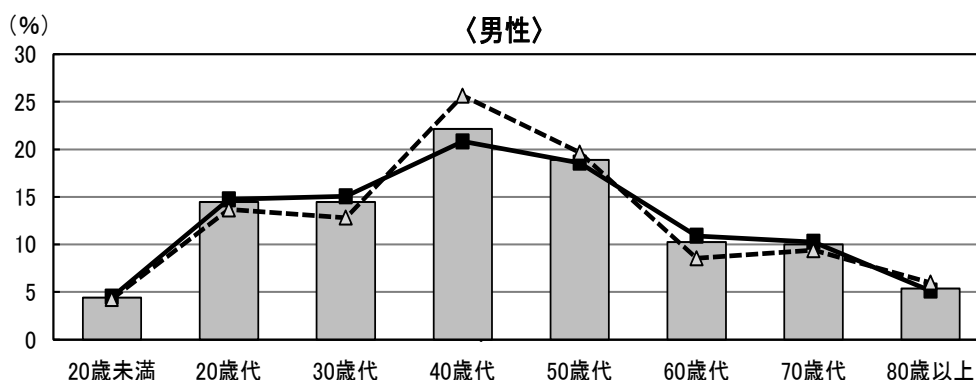
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
平成25年	3	8	19	13	8	11	6	2	70
平成26年	2	12	15	9	11	11	5	7	72
平成27年	1	11	5	17	13	4	6	4	61
平成28年	1	10	11	12	7	7	7	6	61
平成29年	1	8	14	14	11	7	9	5	69
平成30年	3	10	6	17	15	4	7	2	64
令和元年	5	7	6	14	14	6	7	5	64
令和2年	1	11	12	18	11	5	11	5	74
令和3年	3	6	8	12	12	7	11	5	64
令和4年	5	11	6	16	13	3	3	2	59
計	25	94	102	142	115	65	72	43	658
平成25年～令和4年平均	3.8	14.3	15.5	21.6	17.5	9.9	10.9	6.5	100.0
コロナ禍前(令和元年まで)	16	66	76	96	79	50	47	31	461
コロナ禍前(令和元年まで)	3.5	14.3	16.5	20.8	17.1	10.8	10.2	6.7	100.0
コロナ禍以降(令和2年以降)	9	28	26	46	36	15	25	12	197
コロナ禍以降(令和2年以降)	4.6	14.2	13.2	23.4	18.3	7.6	12.7	6.1	100.0

資料:地域における自殺の基礎資料

②性別自殺者の年齢構成

性別自殺者の年齢構成をみると、コロナ感染拡大下の令和2年以降、男性は40歳代、50歳代、80歳代以上で高くなっています。女性は、20歳未満、20歳代、50歳代、70歳代で高くなっています。

コロナ禍以前との以降の自殺者の年代別比率



男性

単位:人

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
平成25年	3	4	15	9	4	8	5	0	48
平成26年	2	8	7	6	9	6	4	2	44
平成27年	0	8	2	13	7	4	4	2	40
平成28年	1	8	9	7	6	5	3	4	43
平成29年	1	6	6	11	8	4	6	4	46
平成30年	3	7	3	10	13	2	5	1	44
令和元年	4	5	5	9	11	5	5	3	47
令和2年	1	5	9	10	6	3	4	4	42
令和3年	1	3	4	9	8	4	5	3	37
令和4年	3	8	2	11	9	3	2	0	38
計	19	62	62	95	81	44	43	23	429
平成25年～令和4年平均	4.4	14.5	14.5	22.1	18.9	10.3	10.0	5.4	100.0
コロナ禍前(令和元年まで)	14	46	47	65	58	34	32	16	312
コロナ禍前(令和元年まで)	4.5	14.7	15.1	20.8	18.6	10.9	10.3	5.1	100.0
コロナ禍以降(令和2年以降)	5	16	15	30	23	10	11	7	117
コロナ禍以降(令和2年以降)	4.3	13.7	12.8	25.6	19.7	8.5	9.4	6.0	100.0

資料: 地域における自殺の基礎資料

女性

単位:人

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
平成25年	0	4	4	4	4	3	1	2	22
平成26年	0	4	8	3	2	5	1	5	28
平成27年	1	3	3	4	6	0	2	2	21
平成28年	0	2	2	5	1	2	4	2	18
平成29年	0	2	8	3	3	3	3	1	23
平成30年	0	3	3	7	2	2	2	1	20
令和元年	1	2	1	5	3	1	2	2	17
令和2年	0	6	3	8	5	2	7	1	32
令和3年	2	3	4	3	4	3	6	2	27
令和4年	2	3	4	5	4	0	1	2	21
計	6	32	40	47	34	21	29	20	229
平成25年～令和4年平均	2.6	14.0	17.5	20.5	14.8	9.2	12.7	8.7	100.0
コロナ禍前(令和元年まで)	2	20	29	31	21	16	15	15	149
コロナ禍前(令和元年まで)	1.3	13.4	19.5	20.8	14.1	10.7	10.1	10.1	100.0
コロナ禍以降(令和2年以降)	4	12	11	16	13	5	14	5	80
コロナ禍以降(令和2年以降)	5.0	15.0	13.8	20.0	16.3	6.3	17.5	6.3	100.0

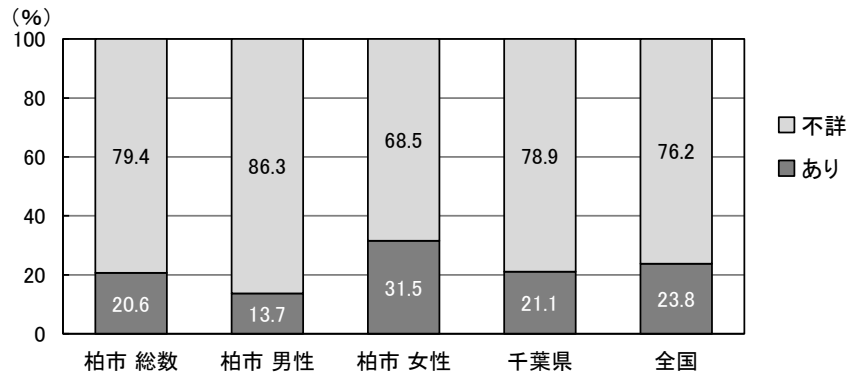
資料: 地域における自殺の基礎資料

2 自殺者の状況

(1) 自殺者の自殺未遂歴

自殺者の自殺未遂の有無をみると、「あり」20.6%は、国・県の割合よりもやや低くなっています。性別では男性の「あり」は13.7%、女性の「あり」は31.5%と、女性が男性の倍以上となっています。

未遂歴の有無別構成比の比較(平成30年～令和4年)



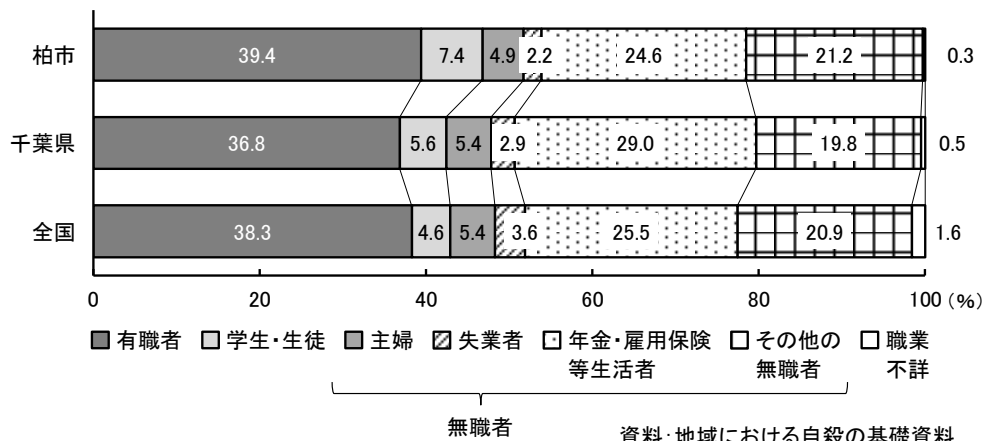
※未遂歴不詳を除いて算出

資料: 地域における自殺の基礎資料

(2) 職業別

自殺者の職業は、「有職者」39.4%、「年金・雇用保険等生活者」24.6%、「その他の無職者」21.2%の順となっています。「有職者」「その他の無職者」「学生・生徒」は国・県の割合よりも高くなっています。

職業別構成比の比較(平成30年～令和4年)

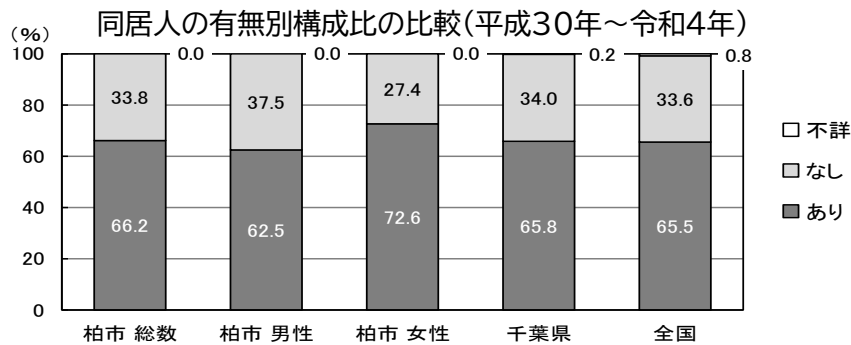


無職者

資料: 地域における自殺の基礎資料

(3) 同居人の有無

自殺者の同居人の有無は、「あり」66.2%、国・県の割合をやや上回ります。性別では、「あり」は男性62.5%、女性72.6%と女性が男性を上回ります。



(4) 性別・年代別・職業別同居人の有無

資料: 地域における自殺の基礎資料

自殺者の性別・年代別・職業別同居人の有無の割合をみると、柏市の割合が高いのは、男性では40～59歳・有職・同居の9.9%、60歳以上・無職・同居の9.6%、40～59歳・無職・同居の6.9%、40～59歳・有職・同居の6.3%、女性では40～59歳無職・同居の7.8%、60歳以上・無職・同居の6.6%、20～39歳無職・同居の4.8%が上位にあげられます。

全国割合を上回る主なものとして、以下をあげることができます。

- ・女性40～59歳・無職・同居
- ・男性40～59歳・無職・同居
- ・女性20～39歳・無職・同居
- ・女性20～39歳・無職・独居
- ・男性40～59歳・有職・独居

性別・年代別・職業別同居人の有無(平成29年～令和3年)

年齢階級	職業	同独居	男性			女性		
			柏市		全国	柏市		全国
			自殺者数	割合	割合	自殺者数	割合	割合
20～39歳	有職者	同居	18	5.4%	6.0%	6	1.8%	1.8%
		独居	13	3.9%	3.9%	4	1.2%	1.0%
	無職者	同居	14	4.2%	4.2%	16	4.8%	2.9%
		独居	7	2.1%	2.1%	9	2.7%	0.9%
40～59歳	有職者	同居	33	9.9%	10.0%	9	2.7%	2.4%
		独居	21	6.3%	4.5%	4	1.2%	0.6%
	無職者	同居	23	6.9%	4.6%	26	7.8%	5.1%
		独居	18	5.4%	4.1%	4	1.2%	1.4%
60歳以上	有職者	同居	5	1.5%	4.0%	3	0.9%	0.8%
		独居	8	2.4%	1.6%	0	0.0%	0.2%
	無職者	同居	32	9.6%	11.6%	22	6.6%	8.7%
		独居	12	3.6%	7.3%	13	3.9%	4.1%

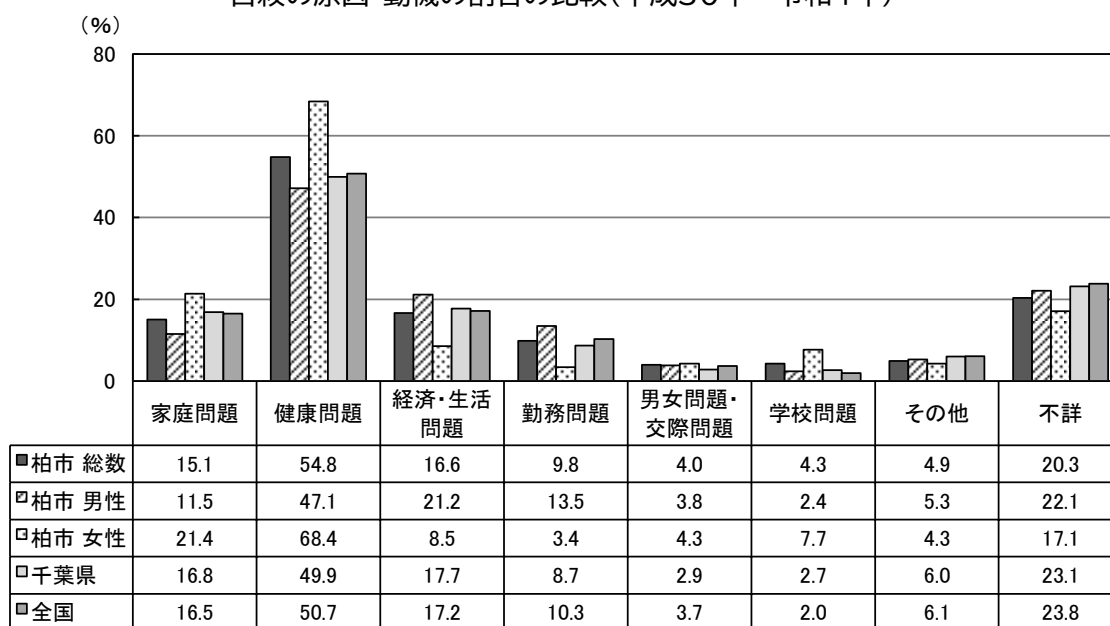
資料: 地域自殺実態プロファイル(2022)

(5) 自殺の原因・動機

自殺の原因・動機は、「健康問題」が 54.8%、次いで「経済・生活問題」16.6%、「家庭問題」15.1%の順となっています。「健康問題」は、国・県の割合より高くなっています。女性 68.4%が男性 47.1%を 20 ポイント以上、「家庭問題」でも女性 21.4%が男性 11.5%を約 10 ポイント上回ります。また、「学校問題」は 4.3%ですが、国・県の割合を上回り、これも女性の割合が高くなっています。

これに対し、「経済・生活問題」や「勤務問題」は男性が女性を 10 ポイント以上上回ります。

自殺の原因・動機の割合の比較(平成30年～令和4年)



資料: 地域における自殺の基礎資料

(6) 「地域自殺実態プロファイル (2022)」による柏市の自殺者の特徴

自殺総合対策推進センターが作成した「地域自殺実態プロファイル(2022)」では、性別・年代別・職業の有無別・同居人の有無別に区分して、主な自殺者の特徴をまとめています。

それによれば、自殺者の上位は男性 40～59 歳有職同居が最も多く、次いで男性 60 歳以上無職同居、女性 40～59 歳無職同居、男性 40～59 歳無職同居、女性 60 歳以上無職同居となっています。40 歳代、50 歳代の自殺死亡率は男性、女性いずれも国・県よりも高く、そのことが反映されています。

地域の主な自殺者の特徴(2017～2021 年合計) <特別集計(自殺日・住居地)>

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性40～59歳有職同居	33	9.9%	14.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
2位:男性60歳以上無職同居	32	9.6%	21.9	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
3位:女性40～59歳無職同居	26	7.8%	19.0	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
4位:男性40～59歳無職同居	23	6.9%	138.4	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
5位:女性60歳以上無職同居	22	6.6%	9.3	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

資料：地域自殺実態プロファイル (2022)